

【ご挨拶】

糖尿病・甲状腺疾患・高血圧症などに関する知識とお知らせを新聞にして皆様に配布しています。皆様の病状が好転いたしますことを、心より願っております。

院長 則武 昌之

今月の特集

後発医薬品 (ジェネリック医薬品)

【後発医薬品（ジェネリック医薬品）とは】

黒柳徹子や加山雄三が「ジェネリック医薬品をご存知ですか？」などと語りかけるテレビコマーシャルを目にした方も多いことと思います。

医療機関のみで扱われる医療用医薬品には「新薬」と「後発品」の二つがあります。「新薬」はその有効性や安全性などを十分に検討せねばならず1つの薬剤の発売までに150～200億円もの膨大な費用がかかるといわれています。そのため「新薬」として発売された薬は開発したメーカーがしばらく特許を持ち独占的にその薬を製造販売することが出来ることになっています。しかし20-25年の特許期間が切れると他メーカーも同じ成分の薬を製造できるようになります。これが「後発医薬品」と呼ばれるものです。

【後発医薬品の利点と問題点】

「後発医薬品」は有効性や安全性に関してはすでに検討がされているので、承認までの手続きや費用が「新薬」に比べてはるかに少なく国が「新薬」の2-8割引の価格（割引率は各薬剤により異なります）に設定しています。「後発医薬品」は価格が低いために薬代の負担が減り医療費の節約に役立つと考えられます。さらに正しい治療を無理なく続けられるようになるだろうと期待されています。

ただし問題点も指摘されています。「後発医薬品」は「新薬」と同じ速さで薬の成分が血液中に吸収されるかどうかの生物学的同等性試験を経て発売されますが、先発品と全く同等ではない場合があると先発品メーカーは指摘しています。また製薬会社にとって「後発医薬品」は利益率が低いので、突然その薬剤の生産を中止してしまう可能性もあります。

【当院での後発医薬品に対する処置】

欧米では医療費の抑制のため積極的に後発医薬品を導入した結果、そのシェアが日本より高い国が多くなっています。このため政府はわが国でも後発医薬品の利用を進めるために今年4月に処方箋の様式変更で踏み切りました。これは処方箋の備考欄に「後発医薬品への変更可」というチェック欄を設け、そこに医師が印をつけて署名した場合には新薬から後発医薬品への切り替えを認めるというものです。その処方箋を調剤薬局に持参すれば患者さんが新薬か後発医薬品かのどちらかを選択ができるようになります。

当院では原則として後発医薬品のある薬に関しては患者さんが希望すれば「後発医薬品への変更可」としたいと思えます。（発売間もない新薬は特許が切れるまで後発医薬品はありません。特許が切れた薬でも後発医薬品がないものもあります）

調剤薬局の薬剤師さんともよく相談して（上記のような後発医薬品の問題点もあることを理解されて）上手に後発医薬品をご利用ください。

ダイアレディースの会6月例会のお知らせ

★6月6日（火）に今年2回目のダイアレディースの会を開催します。梅雨に入って気分がうっとうしくなる時期に心がちょっと爽やかになる寒天料理を考えてみました。

メニュー：「枝豆豆腐のフルフル」「トマトのひんやりサラダ」
「寒天入りご飯」「魚介とグレープフルーツのマリネ」
「新たまねぎのブイヨンスープ」

当院の管理栄養士の川島先生と一緒に調理実習をしながら糖尿病などの情報交換をしましょう！参加希望の方は参加費用として800円を添えて受付にお申し込みください。（女性のみ参加とさせていただきます）

ウォークラリー2006 in 霞ヶ浦のお知らせ

歩いて学ぶ糖尿病！皆さん奮ってご参加ください！
6月4日（日）に霞ヶ浦湖畔を一緒に歩きましょう！

★いつも水戸の偕楽園で行っていた茨城県糖尿病協会のウォークラリーを今年は霞ヶ浦総合公園（水郷公園）で開きます。

◎午前10時から糖尿病運動療法の講演
「糖尿病の運動療法」
「からだが好き糖尿病の運動療法の実践」
（於：霞ヶ浦総合公園の小体育館）
◎午後12:40からウォークラリー
（終了3時半・豪華商品あり）

★参加費として200円の保険に入っていないと必要があります。スタッフまでお申し込みください。当院のスタッフも参加します。（雨天時は講演会だけ行います）



休診のお知らせ

5月26日は日本糖尿病学会総会のため呉先生の外来を休診とさせていただきます。（則武の外来は通常通り）
ご迷惑をおかけしますが、ご了承ください。